

カミノトピックス

北海道の農業を応援しています

今回ご紹介するのは、千歳市上長都にある『東日本三菱農機販売株式会社 北海道支社』様です。

昭和59年12月に三菱農機株式会社の販売会社として第三工業団地に進出し、今年で28年を迎えます。

全道に9カ所の営業所を構え、従業員数は70名になるそうです。取扱商品は、トラクタ・コンバイン・田植機・ミニ耕うん機等の農機具全般の他、除雪機・発電機・草刈機などがあります。今年6月から商品ブランド名を「ASUMA」に変更し新生三菱農機を強くアピールしているそうです。「ASUMA」の名称は「Agri Support Machinery by Mitsubishi」(意味：三菱農機は日本農業をサポートする総合メーカーとして農家の皆様を応援します)の頭文字を由来とし、「ASUMA」のAには、安全作業(Anzen)・安心(Anshin)・明日(Asu)の農業をサポートするという3つの意味がこめられています。

北海道支社のロビーには、大型トラクタやミニ耕うん機その他、昭和36年製の貴重なトラクタも展示されており、家庭菜園などで畑作りをしている方はミニ耕うん機の販売もしていますので、見学に行ってみてはいかがでしょうか。明日の北海道農業を安全と安心でサポートする三菱農機のおかげで、実りの秋を迎えることができる幸せを感じます。

(談：W.F・岡田)



上長都にある北海道支社



1961年製の空冷4サイクル
2気筒ディーゼルエンジン、
20馬力のトラクタです



小回りがきいて取扱易いと
評判のミニ耕うん機です



最新のテクノロジーを
搭載したトラクタ

若いも若きも、みんなで・・・

さる8月25日に千歳市社会福祉協議会様主催の『2012ふれ愛デーチャリティパークゴルフ交流会』が、千歳市根志越のリバーサイドゴルフ場で開催されました。

36H・18H・1日開放とあり、コース管理が行届いたコースですので、存分にプレーしたい方にもご満足いただける交流会です。開催当日は、晴天でとても暑い日でしたが、障がいのある方・健常者の方・今年から子供の部もあり、老若男女一緒にプレーを楽しめました。また、プレーに際してたくさんのボランティアの方々交流会をサポートしており、みんなが楽しいパークゴルフ大会になりました。午後からは、ふれあいコンサート・フラダンス等の披露もあり、暑い日でもあったので南国気分を味わわせていただきました。出演されていた方々は、施設の慰問等もされていて、ご要望があれば、お気軽にボランティアセンターにお問い合わせくださいとのことでした。

食事を用意していただき、帰りにはお土産もいただき、お腹もいっぱい楽しませていただきました。当社も毎年数名参加させていただいておりますが、今年は4名のうち3名が景品までもいただき、少々恐縮しております。

毎年感じる事なのですが、年齢や立場の違っていても、同じ場所で同じことをしてふれ合いっていくことの貴重さを体感できる交流会です。私も1年1回だけのお手伝いですが、勉強になると共に楽しい交流会です。来年は是非みなさんも参加されてはいかがでしょうか。(談：W.F・柴田)



「地元の看板屋」をモットーに

今回ご紹介するのは、北広島市にある地域に根ざした「地元の看板屋」をモットーに、色々なニーズ（省エネ、省スペース、低コスト）に応える看板作りをしている『有限会社 じゅん工芸』様をご紹介します。

代表取締役社長の澤田佳孝様にお話をお伺いしました。

創業は1975年で、看板製作も小さなステッカーから、大きな野立て看板、店舗看板まであるそうで、主に通常の看板のほか、電照看板、インクジェットプリント、ステッカー、横断幕、チャンネル文字、フィルム貼り、のぼり、銘板などを自社工場で作成機械を多数完備し、お客様のニーズに対応できるようにしているそうです。

中でも、インクジェットプリントは、カラフルで訴求力のある看板製作には欠かせないそうで、溶剤系大判インクジェットプリンターで出力し、屋外でも耐候性が良く、発色も抜群だそうです。他にも、ステッカー、横断幕、大型看板などにも使用できるそうです。

カラフルで訴求力のある看板を製作することで、沿道を走る車等にアピールすることも可能になり、また、既存の看板に重ねて新しいイメージを貼り付けすることも可能だそうです。他にも、車輛看板、A型看板、壁面看板もあるそうです。

取材をさせていただき、お客様のニーズに応えるために様々なアイデアを用いて、「お客様のそのまたお客様」に届くようにと看板製作をしているのだと感じ、これは自分の営業にも当てはまることであると勉強になりました。

今ある看板のデザインを変えてみたい方、それぞれのイメージに合わせたオリジナル看板等検討している方は、一度問い合わせしてみても良いでしょう。（談：W.F・坪井）



北広島市新富町東2丁目5-17
TEL・011-373-5726



車両看板



溶剤系大判インクジェットプリンタ



大型看板



壁面看板



A型看板

10月13日（土）に「環境フェア in CHITOSE」が千歳市民文化センターで開催されます。

千歳市内の企業や団体などが、ECO、リサイクルなど環境についての商品や取り組みについて出展されます。

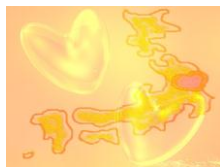
当社もECOについて出展させていただきます。

他にも、「こども環境教室」「チャレンジ 25 宣言コーナー」や、サイエンスインストラクターの「阿部清人先生のエコサイエンスショー」も開催されます。

体験や学習できるコーナーもありますので、お子様も楽しく学習できるかと思えます。

今年の夏は北海道も7%の節電を余儀なくされましたが、北海道の冬は暖房などで電力を使うことが多くなります。これからの電力供給問題や環境問題を考えると、引き続き節電対策をしていかなければいけないのではないのでしょうか。これからも皆さんといっしょに環境について取り組んでいきます。

まだまだ、がんばろう！日本！！



10月より新年度を迎えるにあたり、一部移動があるため席替えをすることになり、まずは「おかたづけ」から。どうしても物を捨てるのに躊躇してしまうKさん。「みんな捨てる」と怒鳴られながら泣く泣く作業に、「私が捨てるのは物じゃなくて、お腹の贅肉なのよ・・・」新年度を迎えると同時に健康診断が始まります。今年はどんな結果がでるのやら・・・。

2012年 9月 30日 VOL. 87

発行元：(株)カミノ

TEL：0123-23-4255 / FAX：0123-24-1381

e-mail：kapass@kamino.co.jp

時の風に乗遅れないように

9月末をもって49期を終えることができました。ご愛顧賜りました皆さまのおかげと深く感謝申し上げます。10月から節目の50期を迎え全社員が決意をあらたにしたところです。

大変先の見えない環境は続きますが、自己責任で乗り切ることが問われています。国内も人口減少からパイの縮小、近隣中国、韓国とはかつてない冷え込む関係。政局ばかりか消費税増税だけで何も決まらない政治。外交に経済にすべての環境が一変。日本だけが特別な国でなく、グローバル化した世界でどう共存する体制を築くかにかかると思えます。今私たちの国日本は、過去のスタンダードは通用しないことを自覚しなければならぬと考えます。そんな背景のなか、私たちのような小さな会社ですら同様な風景を感じるがあります。物品の購入方法一つとってみても、安くて安全でいいものという価値観と作業・仕事の効率向上と品質が求められてきた商品も、安価がすべてという風潮が蔓延しているように感じます。安価が悪いとは思っていませんが、しかしそれだけを追求すると、地方では自分たちの周辺で雇用の場を失う人が大勢派生していることはご承知のとおりです。商売という行為は収益活動とよく言われます。実はそれだけではなく仕事の間を提供し働く人たちの対価として賃金を払い、安心した生活基盤が担保できるよう努めることが大事な使命と考えています。ご支援いただく皆さんに施した商品の売買、サービスなどを通じて適切な利益をいただき、ローカルな小さな一企業でも地域・社会にささやかではあります貢献しているという自負でそのことを糧に社員たちは努力してきました。当社も地域の人たちと歩を合わせこの地がより元気にそしてもっともっと発展することを祈念し社員一同心一つに頑張ります。変わらぬご厚情を賜りますようお願い申し上げます。

2012年 9月
株式会社 カミノ
代表取締役 青木 昭弘